

[参考資料・リリース日本語訳]

報道関係各位

2002年2月8日

バルティス 2001 年度業績 医薬品が売り上げの 2 桁成長を牽引

- グループ全体の売り上げは、現地通貨ベースで 14% 増 (スイスフランベースで 10% 増) の 320 億スイスフラン (2 兆 2,400 億円) を達成。
- 米国でのダイナミックな売り上げ (18% 増) はグループ全体の売り上げの 43% を占める。
- 医薬品の売り上げは現地通貨ベースで 15% 増 (スイスフランベースで 11% 増) の成長を達成。突出した米国での業績 (24% 増) と循環器領域とがん領域でのフランチャイズの拡大がその牽引力。
- 医薬品の新製品上市と主要製品への投資増大にもかかわらず、営業利益は 8% 増の 73 億スイスフラン (5,110 億円) を達成。
- 純利益は 8% 増の 70 億スイスフラン (4,900 億円) に。
- フリーキャッシュフローは買収資金を除き、25% と大幅に飛躍し 41 億スイスフラン (2,870 億円) に。
- 一株当たり利益は、10% 増の 2.73 スイスフラン (191 円)。

継続したビジネスの主要財務データ

	2001			2000			前年比	
	百万 スイスフラン	億円	%	百万 スイスフラン	億円	%	百万 スイスフラン	%
グループ全体の売上	32 038	22 427		29 112	20 378		2 926	10
営業利益	7 277	5 094		6 727	4 709		550	8
対売り上げ比			22.7			23.1		
純利益	7 024	4 917		6 511	4 558		513	8
対売り上げ比			21.9			22.4		
社員数	71 116			67 653			3 463	5
1 株当たり利益 (スイスフラン・円)	2.73	191		2.49	174		0.24	10

換算レート： 2001 年 1 スイスフラン = 70 円
2000 年 1 スイスフラン = 70 円

本リリースで用いられている日本円表示の金額は、すべて便宜的に 2001 年、2000 年ともに 70 円の為替レートでスイスフランを日本円に換算したものである。これらの換算金額は、このレートまたはその他のレートでスイスフランの額を実際に日本円に換えられる額を示すものと解してはならない。

*すべて製品名は、ノバルティス社もしくはその関連会社によって商標登録されたものである。

バーゼル発、2002年2月7日

2001年を通じてノバルティスの売り上げの伸びは加速し続け、グループ全体の年間売上は現地通貨ベースで14%増、スイスフランベースで10%増の320億スイフラン（2兆2,400億円）を記録しました。売り上げの伸びは、医薬品セクターの売上増と米国におけるビジネスが引き続きダイナミックに推移したことに牽引されたもので、特に、米国での医薬品セクターの売り上げは、24%増と大きく飛躍しました。総じて、米国での売り上げは、グループ全体および医薬品セクターの売り上げの43%を占めるまでに上昇し、大きく貢献しています。

ノバルティスの会長兼最高経営責任者のダニエル・バセラは、次のように述べています。「2001年、ノバルティスはヘルスケア、特に医薬品ビジネスと米国市場への戦略的なフォーカスの結果として、素晴らしい業績を獲得することができました。売り上げは2桁の伸びを達成し、アグリビジネスをスピノフしたことによる修正後のグループ全体の売り上げ、純利益、キャッシュフローはすべて記録的なレベルを成し遂げました。

特に成長の牽引力となる、主要製品のマーケティングと営業への投資を拡大させた結果、米国における医薬品の売り上げは24%という驚異的な伸びを示し、米国市場におけるノバルティスの地位を、最も急速に成長しつづける製薬企業の一つに高めることになりました。さらに、金融市場における厳しい状況にもかかわらず、昨年と同様レベルの純財務利益を獲得することもできました。医薬品ビジネスにおいては、全世界で15の承認を取得し、それは製薬業界最高の件数であり、2002年においても継続的な成長の原動力となるでしょう」

営業利益は8%増の73億スイフラン（\$,110億円）

研究開発への投資は42億スイフラン（2,940億円）とこれまでにないほど高い水準となり、主として医薬品のパイプラインをさらに強化しました。現在、66のプロジェクトが臨床開発段階にあります。医薬品のマーケティングや流通分野への投資は年間を通じて拡大され、成長の牽引力となる主力製品と新製品の上市を強化し、売り上げの成長が著しく加速されました。その結果、また営業効率の向上によって、グループ全体の営業利益率は22.7%と計画を上回り、非常に高いレベルであった昨年の実績をわずか0.5%下回ったのみでした。

純利益は8%増の70億スイフラン（4,900億円）

関連会社、主にカイロン社などからの収益は、4,200万スイフラン（約29億円）増加し1億3,900万スイフラン（約97億円）となりました。純財務利益は10億6,700万スイフラン（約747億円）で、金融市場の困難な状況にもかかわらず、わずか1億4,900万スイフラン（約104億円）減にとどまりました。これらは米ドル債権とファンドマネジメントの成功によって成し遂げられたもので、利子収入の減少と為替損の増加が相殺されました。

人材

全世界のノバルティスグループ全体で、2000年12月31日時点で67,653であった社員数が、2001年12月31日時点では71,116人に増加しました。

医薬品セクターはMR数を引き続き増大し、全世界で16,253人を擁しています。特に米国では、最も速くその数を増やし（22%増）、現在およそ5,500人が活躍しています。

企業市民活動

本日発行されたノバルティスのアニュアル・レポートには、「健康・安全・環境レポート」と社会活動が紹介されています。2001年、ノバルティスでは「企業市民」に関するポリシーが設定されました。これは、戦略的イニシアティブとしてその価値を規定し、

国連グローバル・コンパクト（人権、公平な労働基準、環境保全を強化することを宣言した憲章）に則ることを宣言したものです。
2001年のビジネスの成功によってノバルティスは、財政困難な状況にあり、援助を必要とする患者さんを支援するプログラムをスタートさせることができました。

2001年の事故率はさらに22%減少しましたが、グループ全体の事業が環境に及ぼす影響は、その減少分が買収企業によって相殺されたため、前年と同レベルにとどまりました。

戦略的見通し

ノバルティスは今後も、医薬品をビジネスの中核とするヘルスケア事業をその成長の基盤とする戦略を継続していきます。成長のための資産に精力的に投資し、さらにグローバルブランドを確立し、競合力のあるマーケティングと営業組織を開拓、拡大することによって、主要な市場においてリーダーシップを確立し、マーケットシェアを拡大していきます。米国での事業強化策は依然として重点戦略であり、人的資源を強化し、医薬品の新薬パイプラインを充実させ、研究開発戦略を推進していきます。ノバルティスの革新に対するコミットメントは、研究開発への投資をさらにレベルアップし、新たに研究スタッフを大幅に増員し、科学およびバイオテクノロジー分野の優秀な研究機関とのより強い連携を一貫して確立することによって、実行されます。

業績の見通し

ノバルティスは、医薬品事業における主要ブランドの好調、新製品の上市や適応症の追加を基盤に、引き続き成長軌道を維持すると考えています。医薬品の売り上げは、2002年も1桁の後半あるいは2桁の前半の成長が期待され、それによって同様の営業利益の伸びを達成できると考えています。マーケティング活動への投資は、2001年レベルを維持する予定ですが、研究開発への投資は増大される予定です。現在のところ、利益率は2001年レベルを維持できると期待しています。

その他のセクターは、それぞれの市場の動向に連動して売り上げの拡大が期待されており、営業利益率の改善が期待されています。

予想しがたい要因を除けば、2002年にはグループ全体として、1桁半ばから後半レベルの売り上げの伸びと、昨年レベルを上回る営業利益と純利益が期待されています。

セクター別業績

医薬品 売り上げ

6つのブランドが、それぞれ10億スイフラン（約700億円）を超える年間売り上げを再び達成し、これによって2001年の医薬品セクターのグローバルでの全売り上げは202億スイフラン（約1兆4,140億円）に達し、現地通貨ベースで15%増（スイスフランベースで11%増）となりました。このすばらしい業績は米国におけるダイナミックな売上増加（24%増）によるもので、医薬品セクターのトータル売り上げの43%を占めています。また、プライマリーケア、がん領域そして眼科領域において主力ブランドの堅固な売り上げ増加も大きな貢献を果たしました。今やノバルティスは、米国市場において急速な成長を続ける主要製薬企業の一つとなっています。

全世界で15もの承認を取得しました。これは製薬業界でトップレベルの業績です。そのうちの11の新製品あるいは適応追加は、主要国マーケットの当局に申請されました。ノバルティスは米国において、新薬承認を2000年、2001年とも9つ取得しました。私

たちに次ぐ競合の製薬会社でも3つの承認取得に過ぎず、ノバルティスは2年続けて最も多く承認を取得したことになります。

プライマリーケア

プライマリーケア領域は、米国の高血圧症治療薬のトップ10製品の中で、引き続き最も速い成長を記録している「ディオバン」と「ロトレル」によって、循環器領域のフランチャイズを拡大しました。

高血圧症治療薬「ディオバン/コディオバン」(58%増、米国：47%増)は米国におけるアンジオテンシン受容体ブロッカー(ARB)の中で、新規処方でのリーディングポジションを獲得しました。ヨーロッパにおいても、41%も売り上げを伸ばしました。ディオバンはARBで初めて、世界中で最も急速に患者数が増えている循環器疾患である心不全の適応拡大に対して、FDAから承認推薦通知を受けました。

抗真菌薬「ラミシール」(19%増、米国：22%増)は、真菌への阻害作用というよりその殺真菌作用を有する製品力と、優れたリスク/ベネフィットのプロフィールによって、その売り上げを再び増加させました。

がん領域

売り上げの点から見ると、ノバルティスは、がん領域では現在全世界で第4位ですが、2001年のノバルティスのがん領域事業の売り上げは28%増(現地通貨ベース)を達成し、「グリベック」と「ゾメタ」の上市の成功、そして「フェマーラ」の進行性乳がんの第1選択治療薬としての適応拡大によって、著しく勢いづきました。

抗悪性腫瘍治療剤「グリベック」は世界60カ国以上で承認され、上市から8カ月足らずで予想を超える2億5,700万スイフラン(約180億円)を達成しました。そして米国では、消化管間質腫瘍の治療薬として承認されたばかりです。12月に行われた米国血液学会(American Society of Hematology)では、新たに診断された慢性骨髄性白血病患者を対象とした、最前線のピボタル試験におけるポジティブな結果など、100を超える抄録と25の演題が提出されました。ノバルティスは2002年の半ばまでに、新たに診断された慢性骨髄性白血病患者の治療にも用いられるよう、適応の変更を申請する予定です。

「アレディア」の後継薬として、さらに簡便で高い効果が期待されている「ゾメタ」は、65カ国以上で悪性腫瘍による高カルシウム血症治療薬として承認され、7,400スイフラン(約52億円)の売り上げを達成しました。さらに「ゾメタ」は、幅広く悪性腫瘍を対象とした骨転移の治療薬として申請され、米国では承認勧告がだされ、優先審査品目に指定されました。

ホルモン過敏性の閉経後の進行性乳がん治療薬の第1選択薬「フェマーラ」は、迅速なグローバル市場への拡大と米国でのマーケットシェア増に後押しされ、売り上げ72%増(米国：171%増)を記録しました。「タモキシフェン」と比較した試験で、生存率とがんの進行時間における「フェマーラ」の優位性をさらに確固たるものとするデータが公表され、12月に発表されました。

末端肥大症およびカルチノイド症候群の治療薬「サンドスタチン」(26%増)は、より簡便で、1カ月1回投与の徐放性剤LARの成功によって、引き続き市場における優位性を確保しました。

眼科領域

眼科領域において、滲出型加齢黄斑変性症治療薬「ピスダイン」(127%増、米国：114%増)は、成長の鍵となる主力製品であり、一部の保険払い戻し状況の改善および

適応拡大（35カ国で病的近視の初めての薬剤となり、また米国で眼ヒストプラズマ症が疑われるケースの治療薬として承認されている）によって、その売り上げは3億7,700万スイフラン（約264億円）に到達しました。ビスダインはEU、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドそしてスイスで中心窩脈絡膜新生血管を対象として承認申請が行われています。

移植・免疫領域

移植・免疫領域においては、免疫抑制剤治療の標準薬である「サンディミュン/ネオオーラル」の売り上げは、ジェネリック品の発売にもかかわらず、7%減（米国：20%減）にとどまりました。米国での売り上げ減少も、ジェネリックとの競合に直面している、他の拒絶反応の抑制に必須の免疫抑制剤と比較すると、概ね善戦しています。

「ネオオーラル」を補完し、その臨床効果を最適化する目的で開発された「シムレクト」は、さらに免疫抑制剤市場に浸透し、24%の売上増を記録しました。

ジェネリック

ジェネリックの売り上げは現地通貨ベースで26%増（スイスフランベースで23%増）で、新製品の上市と、売上増加の20%に貢献した最近の買収がその牽引力となりました。

コンシューマーヘルス

コンシューマーヘルスの売り上げは現地通貨ベースで4%増（スイスフランベースで2%増）で、特に米国においては経済の伸び悩む中であって4%の売り上げの伸びを示し、トータル売上の49%に貢献しました。

チバビジョン

2001年の売り上げは現地通貨ベースで33%増（スイスフランベースで28%増）で、18億スイフランを達成しました。売上増の28%は、買収したウエスリー・ジェッセン製品の貢献によるものです。

革新的なコンタクトレンズの「フォーカスシリーズ」は、「フォーカスデイリーズ（1日使い捨てレンズ）」、「フォーカス・ナイト&デイ（30日間連続装用）」、さらに買収したコスメティックレンズ「フレッシュルック」の業績が好調でした。「フォーカス・ナイト&デイ」は、高酸素透過性30日連続装用レンズとして初めて、米国FDAの承認を取得しました。

防腐剤を一切含まず、こすり洗いの必要がない、ワンボトルレンズケア消毒システムの「AOSEPT Plus / AOSEPT Clear Care」と「SOLO-care Plus」の新発売や、今後の従来型コンタクトレンズ製品の開発が、低迷するレンズケアや従来型コンタクトレンズの市場対策を目的として進められています。

眼科用サージカル製品の売り上げは堅調に伸びました。これは世界で唯一のプレフォーールドタイプ（あらかじめ折りたたんである）眼内レンズであり、より小切開に適するタイトロールバージョンの「メモリーレンズ」の上市によるものです。革新的でフレキシブルな後房用眼内レンズである「PRL（Phakic Refractive Lens）」はヨーロッパで上市され、米国では承認申請に向けた臨床試験が実施されています。

アニマルヘルス

アニマルヘルスの売り上げ（7%減）は、米国の景気後退と小動物病院における製品在庫圧縮の動き、さらに英国の口蹄疫の影響を受けました。英国以外のヨーロッパの多くの国、またラテンアメリカやアジア太平洋地域では、好調な業績が報告されています。堅調な成長を続けるワクチン事業や水産薬事業、「チアムリン」（豚の呼吸器および消化器疾患用医薬品）、さらに「フォルテコール」（犬の心臓病治療薬）によって、売り上げが増加しました。特に「フォルテコール」は、猫の腎不全への適応を拡大したことで、2桁の成長を記録しました。

2002年の業績発表予定

3月21日	年次株主総会
4月18日	第一四半期業績発表
7月22日	上半期業績発表
10月17日	第三四半期業績発表
10月17日	ビジネス&R&Dアップデート

上記の発表には、現時点での将来への予想と期待が一部含まれております。従って、その内容に関しては、また将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる可能性があることをご了解ください。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けております Form 20-F をご参照ください。

ノバルティスは、医薬品、コンシューマーヘルス、ジェネリック、アイケア、動物薬を事業の柱とする、ヘルスケアにおける世界的リーダーで、ニューヨーク証券取引所に上場しています。ノバルティスグループの継続する事業の2001年度の売り上げは320億スイフラン（約2兆2,400億円）、研究開発には約42億スイフラン（2,940億円）を投資しています。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約71,000人の社員を擁し、世界140カ国以上で事業を行っています。

詳細は、<http://www.novartis.com> をご覧ください。

年間の事業内容および財務内容の詳細につきましては、2001年アニュアルレポートをご参照ください。

医薬品売り上げ上位 20 製品

製品名	適応	2001 年売上 百万円	前年比% 現地通貨建
ディオバン/コディオバン	高血圧症	1 880	+58
サンディミュン/ネオール	移植、慢性関節リウマチ、乾癬	1 829	-7
チバセン/ロテンシン	高血圧症	1 518	+22
ラミシール(グループ)	真菌症	1 405	+19 ¹
アレディア(グループ)	悪性腫瘍による高カルシウム血症	1 270	+15
ボルタレン	炎症/疼痛	1 066	-8
サンドスタチン(グループ)	末端肥大症	816	+26
レスコール/ローコール	高コレステロール血症	814	+17
ミアカルシック	骨粗鬆症	707	0
テグレート	てんかん	683	+1
レボネックス /クロザリル	難治性の精神分裂病	539	-5
エストラダーム(グループ)	ホルモン置換	484	+6
エクセロン	アルツハイマー病	403	+104
フォラジール	ぜんそく	390	+21
ビスダイン	滲出型加齢黄斑変性症	377	+127
ファミビル(グループ)	抗ウイルス剤	323	NA
ニトロダーム TTS	狭心症、うっ血性心不全	320	-4
ザジテン	ぜん息、アレルギー	265	-6
グリベック	慢性骨髄性白血病	257	NA
トリレプタール	てんかん	250	+87
トップ 20 製品トータル		15 596	+19
その他の製品		4 585	+4
全製品トータル		20 181	+15

1：一部を他のセクターへ移転後の 2000 年の売り上げに基づいて、集計し直した。

換算レート 1 ドル = 70 円